

第 129 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 2025 年 9 月 19 日 (金)
- 2 開催場所 ヴィラ・デ・マリアージュ高崎
- 3 出席について
 - 委員総数 14 人
 - 出席委員数 7 人
 - 出席委員の氏名 (敬称略)
 - 赤羽洋子 / 小澤健一 / 斎藤紀雄 / 佐藤正幸
 - 清水一希 / 吉井照雄 / 吉村巳之
 - 欠席委員の氏名 (敬称略)
 - 今井陽子 / 風間隆之 / 風間まり子 / 高井俊一郎
 - 竹中隆 / 田中美由紀 / 吉田勝紀
 - ラジオ高崎 4 人
 - 代表取締役 大山駿作
 - 専務執行役員 関口高史
 - 取締役放送局長 田野内明美
 - 営業課長 岡田浩
- 4 議題
 - ① 『おらほうの公民館』
 - ② 『文房ぐっとラジオ』
- 5 議事の概要 (別紙)
- 6 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
 - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
 - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内 <http://www.takasaki.fm>
 - ・ラジオ高崎放送 2026 年 3 月 1 日(日) 午前 6 時 55 分～6 時 59 分

(別紙) 議事の概要

- ・代表取締役大山駿作より挨拶。
- ・取締役放送局長田野内明美より特別番組の紹介。

- NO-SUBJECT 特番 in TCRF2025 (7/8、7/13)
- 夏の交通安全ラジオ (7/11～20)
- 高崎芸術劇場 大友直人 Presents T-Shot シリーズ vol.15
小井土文哉 ピアノ・リサイタル (再放送 7/16)
- 高崎芸術劇場 大友直人 Presents T-Shot シリーズ vol.16
奥井紫麻 ピアノ・リサイタル (7/18)
- 高崎グルメぐり特別編 菓心たつや「箕輪城址もなか」(7/21～26)
- 高崎市やるベンチャーウィーク
入野中学校生徒制作「うしぶせラジオ」(7/21～27)
- おまつりラジオ 762 (8/23)
- ソフトボールシティ高崎 ダイヤモンド・トーク (8/30、9/4、9/7)
- 交通安全落語 (9/21～30)

※審議対象

【素材名】

- ① 『おらほうの公民館』
- ② 『文房ぐっとラジオ』

【内 容】

- ① この番組は、おらほう（高崎市内）の個性豊かな公民館サークルをご紹介します。地域の皆さんの「飾らない素の声」をお届けしています。※おらほう＝「私の町(地域、村)」という方言
- ② この番組では、文房具専門店「HI - NOTE」スタッフの大河原さんと塚越さんが、身近にある文房具の身近でない話を紹介しています。今おすすめの文房具はもちろん、おしゃれなものから高機能なものまで、文房具の様々な魅力に迫ります。

【放送日】

- ① 『おらほうの公民館』 毎月最終金曜日 午前8時20分～
- ② 『文房ぐっとラジオ』 第1・3土曜日 午後1時55分～
(第2・4・5週は再放送)

- ・番組説明と OA 素材試聴のあと、広く意見を求めた。

委員各位の意見

「おらほうの公民館」について

○とても面白かった。「おらほうの〇〇」として他の題材で新しい番組もできるのではないか。

○短歌がテーマで楽しかったが、番組の構成についてはもう少し工夫ができるのでは。短歌を詠んで説明して終わりでは一方的すぎるので、サークルの皆さんとアナウンサーで1つの短歌について感想を話し合う方が良かったのではないかと。

○今回は短歌のサークルだったが、自分が作ったものを自分の声で発信できる場があることが素晴らしく、とても良い番組だと思った。

○今、防災の観点からも高齢者の方たちが繋がる場所づくりが重視されている。公民館は避難場所でもあるので、身近な場所として感じてもらうにも良い番組だと思った。

○1つのサークルの紹介だけで終わらず、「〇〇公民館では他にもこんなサークルがあります」って紹介があるとより良いと思った。

○公民館というと「一部の人がサークルで使っているだけ」というイメージだが、本の貸し出しがあったり、学習の拠点や防災活動の場など実は大切な役割が色々あるので、公民館自体にもっと焦点を当てても良いのでは。

○私の地域の公民館では、館長がお菓子教室をやっていた。館長特集などもおもしろいのでは。

「文房ぐっとラジオ」について

○番組を自社の店舗で流すという手法はとても良いと思う。他の飲食店や会社、学校等でもこの手法を活用できるのでは。

○商品紹介を聴きながら、どんな商品なのか一生懸命想像していた。言葉だけで伝えるのは本当に難しいと思うが、聴く人の想像を駆り立てる番組づくりはラジオだからこそ。今後も続けてほしい。

その他の番組やラジオ高崎の取り組み全般について

○高崎ホルモンに焦点をあてた番組があるが、群馬は小麦文化なので、ぜひラーメンやパスタの番組についても検討してほしい。

○奥井紫麻さんのピアノ・リサイタルの放送を聴いたが、公演だけでなく、公演後に大友芸術監督とのトークが聴けるのもラジオ高崎ならではのプログラムでとても良かった。

○ラジオ高崎がターゲットとしていた年齢層もだんだん高齢化していくので、高齢者向けの番組づくりもお願いしたい。

以上